

健 第 1035号
令和2年10月30日

公益社団法人岡山県医師会長 殿
一般社団法人岡山県病院協会长 殿

岡山県保健福祉部長
(公印省略)

今冬のインフルエンザワクチンの優先的な接種について（依頼）

岡山県保健福祉行政の推進については、平素よりご協力いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、今冬のインフルエンザワクチンの優先的な接種について、今シーズンに供給されるインフルエンザワクチンの見込み量は、約3,322万本と、統計のある平成8年以降、最大だった昨年の使用量（2,825万本）と比較しても約18%多い量が見込まれているところですが、新型コロナウイルス感染症の流行により、接種希望者が例年より、増加している状況です。

つきましては、国による定期接種対象者への優先接種の協力期間は終了しましたが、必要な方に確実に届くように、定期接種対象者や基礎疾患のある方、重症化リスクの高い方等を優先して接種するようご配慮願います。

また、必要に応じて、2回接種対象者（13歳未満）においても、1回接種とする旨の検討についても併せてお願いいたしますので、貴会員への周知についてお願い致します。

記

優先接種の配慮をお願いする方

- ・定期接種対象者（65歳以上の高齢者等）
- ・医療従事者
- ・基礎疾患を有する方
- ・妊婦
- ・生後6ヶ月～小学校2年生

【参考（小児の1回接種について）】

- ・「季節性インフルエンザワクチンの供給について」（令和2年9月9日付け医政経発0909第1号、健健0909第1号、健感0909第3号 厚生労働省医政局経済課長、厚生労働省健康局健康課長、厚生労働省健康局結核感染症課長連名通知）
- ・「令和2年度インフルエンザHAワクチン製造予定量増産等のお願い」（2020年8月14日付け予防接種推進専門協議会（参加学術団体（公社）日本小児科学会他21団体））